

地区計画による景観形成について

当地区では、「玉川上水・放射5号線周辺地区地区計画」に定めるまちの将来像を実現させるため、形態又は意匠の制限の中で、看板等について、ガイドラインによる配慮を定めるほか、形態又は色彩等の意匠の制限を設けています。

●地区計画とは・・・

地区の特性に応じて建築物等の制限を定めることにより、目指すべきまちの将来像へと誘導していく、都市計画法による制度です。建築物の建替え等の際に、地区計画に定めた制限に合わせた計画としていただくことで、まちの将来像の実現を図っていきます。

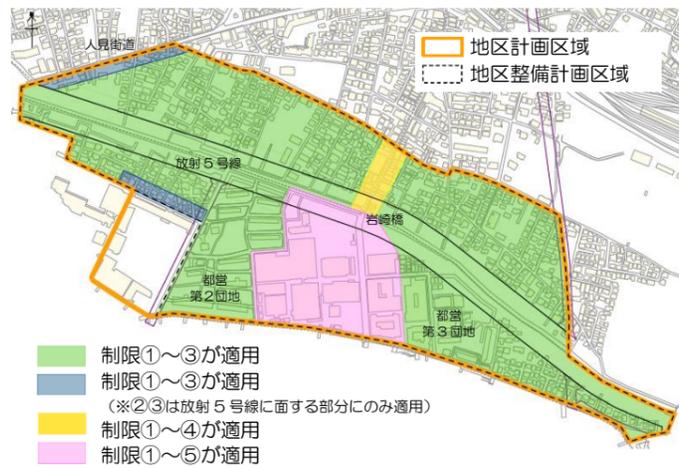
●「玉川上水・放射5号線周辺地区地区計画」における看板等に関する方針や制限

【建築物等の整備方針（看板等）】

玉川上水のみどりや周辺環境と調和したまちなみを誘導するため、看板等は刺激的な原色を避け、**別に区が定めるガイドラインに準じたものとなるよう努めることとする。**また、看板等の形態又は色彩その他の意匠の制限を定める。

【看板等の形態又は色彩その他の意匠の制限】

- ① 玉川上水のみどりや周辺環境と調和したものとする。
- ② 表示面積の1/3を超えて使用できる色彩は、下記に掲げる色彩基準から使用することとする。
色相 OR~5Y 彩度 8 以下
その他の色相 彩度 6 以下
- ③ 点滅する光源、赤色又は黄色の光源、露出した光源は使用しないこととする。
- ④ 建築物等の最上階屋上への看板等の設置を禁止する。
- ⑤ 自家用広告物のみ設置可能とする。



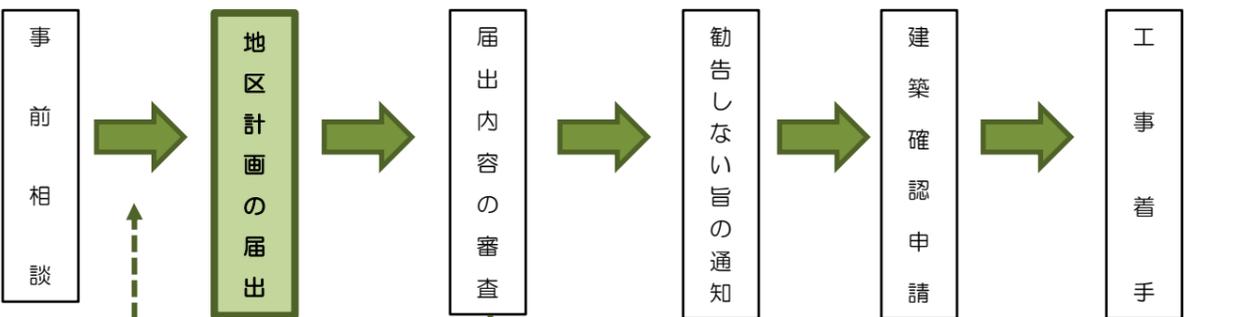
●隅切り部分の工作物の設置制限

隅切り部分には、垣、さく、看板等の工作物を設置できません。詳細については、「玉川上水・放射5号線周辺地区地区計画」のパンフレットでご確認ください。

●地区計画の届出の対象となる看板等について

地区計画の届出の対象となる場合は、工事の着手30日以上前に建築確認申請に先立ち、届出が必要になります。
※確認申請不要の場合でも届出は必要です。

届出対象となる行為	対象物	広告塔、広告版、アーチの表示または掲出のために必要な工作物
	対象規模	表示面積が1㎡を超えるもの又は高さが3mを超えるもの
	対象行為	(上記工作物の)建設および形態又は色彩その他の意匠の変更



※地区計画の制限内容や届出書類等の詳細は、「玉川上水・放射5号線周辺地区地区計画」のパンフレットでご確認ください。パンフレットは、区公式HPでご覧いただけます。

【問い合わせ】 杉並区 都市整備部 市街地整備課 地区計画係 Tel: 03-3312-2111(代表) 〒166-8570 東京都杉並区阿佐谷南 1-15-1 杉並区役所 西棟 3階

看板等を設置するときは

玉川上水のみどりや周辺環境と調和したものとしましょう

玉川上水・放射5号線周辺地区 看板等の景観ガイドライン

ガイドラインの目的

広告板や置看板、のぼり旗などの看板等は、まちの景観に影響を与える大切な構成要素のひとつです。「玉川上水・放射5号線周辺地区まちづくり計画」では、「玉川上水のみどりを活かし、住環境と交通環境が調和したまち」をまちの将来像に掲げ、まちづくりの柱のひとつである「景観」の中で、「魅力的な景観が形成され、まちへの誇りや愛着が生まれ、住み続けたいまち」を目標としています。そして、同計画に基づき策定した「玉川上水・放射5号線周辺地区地区計画」においても、形態・意匠の制限の中で、看板等に関する基準を定めています。

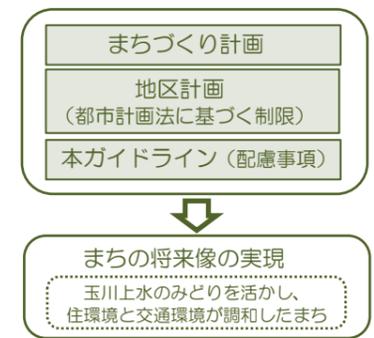
本ガイドラインは、玉川上水・放射5号線周辺地区まちづくり計画の位置付けを踏まえ、史跡・玉川上水を中心とするみどり豊かな環境と調和した望ましい看板等のあり方を、区と区民や事業者の皆さんが共有することを目的に作成しました。

玉川上水・放射5号線周辺地区で、看板等の設置をお考えの場合は、本ガイドラインを活用いただき、地域の景観に配慮した計画となるようご検討をお願いいたします。

※看板等を設置する場合には、以下の手続きが必要になる場合があります。

- ・東京都屋外広告物条例に基づく許可申請（区 土木管理課 占用係）
- ・杉並区景観計画に基づく相談（区 都市整備部 管理課 庶務係）
- ・玉川上水・放射5号線周辺地区地区計画に基づく届出（区 市街地整備課 地区計画係）

詳細については、それぞれの担当部署にお問い合わせください。



ガイドラインの適用対象区域

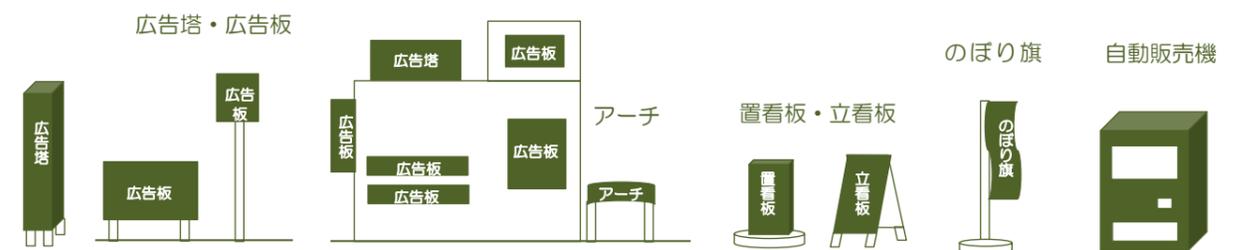


【凡例】

ガイドラインの適用対象区域
(玉川上水・放射5号線周辺地区地区計画区域)



対象となる看板等のイメージ（例示）



※上記のイメージ以外の看板等の設置をお考えの場合は、事前にお問い合わせください。

※地区計画の制限で、隅切り部分には、看板等の工作物を設置できませんので、ご注意ください。詳細については、裏面及び「玉川上水・放射5号線周辺地区地区計画」のパンフレットでご確認ください。

Point 1

量の抑制

量

看板等の数や表示内容は必要最小限とし、できる限り集約化する等、玉川上水のみどりや落ち着いた住宅地のまちなみに配慮した計画としましょう。

具体的な配慮の例

1-1 低層部への集約

歩いて楽しむまちの特性を活かし、看板等はできるだけ低層階(3階以下程度)に集約するとともに、上層階に設置する場合は、名称のみを表示する等シンプルな表示を基本としましょう。



1-2 適切な規模

看板等は設置場所や見せる対象、文字の大きさや距離等を踏まえ、過剰な規模とならないように配慮しましょう。

◆視距離と認識できる文字の大きさ

Table with 4 columns: 視距離 (Viewing Distance), 和文字文字高 (Kanji Character Height), 英文字文字高 (English Character Height), 屋外広告物の例 (Examples of Outdoor Advertising). It lists recognition standards for various distances from 10m to 100m.

(算定式 視距離の1/250 視距離の1/333)

出典：公共交通機関旅客施設の移動円滑化整備ガイドライン（青字部分）に加筆

1-3 情報量の整理

必要な情報や伝えたい情報を精査するとともに、短い時間でも伝わりやすい簡潔な表現となるよう工夫しましょう。

◆認識できる文字数

人の目が1カ所に滞留する時間は約0.3秒、その間に判読できる文字は「15文字」程度とされています。



玉川上水のみどりや周辺環境と調和した魅力的な看板 (Red X mark) vs 玉川上水のみどりや調和した看板 (Red O mark)

1-4 同質の看板等の集約化

テナントビル等の同質の看板等が複数表示される場合は、デザインや表示方法、位置等を揃えて、利用者に伝わりやすくする情報の序列化を図りましょう。

1-5 のぼり旗等の設置の抑制

のぼり旗を設置する場合は、必要最小限の数としましょう。また、派手な色使いは避け、色彩や素材感等に留意しましょう。

玉川上水のみどりや周辺環境と調和したまちなみをつくりましょう！

看板等の景観ガイドラインを活用した改善イメージ

文字等を適切な大きさにするとともに、周囲の看板等と色彩や位置を調和させたイメージ



配慮した項目：1-2 2-1 2-2 2-4

情報量を整理し、看板やのぼり旗を集約するとともに、落ち着いた配色としたイメージ



配慮した項目：1-3 1-4 1-5 2-1 2-2

Point 2

質の向上

質

看板等のデザインは、落ち着いた色彩を基本とするとともに、個々のデザインの向上や周囲との連続性等に配慮し、まち全体の景観が向上するよう努めましょう。

具体的な配慮の例

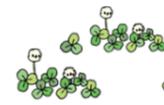
2-1 落ち着いた配色

反対色の色の組み合わせ等の派手な印象の色彩を避け、可読性に優れたシンプルで落ち着いた配色を基本としましょう。自動販売機の色についても、清涼飲料自動販売機協会が業界自主ガイドラインとして定めた景観対応色を基本とするなど、落ち着いた色使いになるよう配慮しましょう。



2-2 生きたみどりの活用

潤いや季節感が感じられるまちなみを創出するため、看板等と組み合わせ、生きた草花の彩りも活用しましょう。



2-3 まちなみにあった照明計画

照明は、まぶしさを抑えるとともに、周囲のまちなみと調和した夜間の景観を演出するよう、色温度(色彩ミニ知識参照)や光量に配慮しましょう。内照式照明の場合は、まぶしさを抑えるため、看板の地色や透過性にも配慮しましょう。

内照式照明のイメージ



2-4 看板等の相互の調和

隣接する建築物や看板等との連続性や一体感が感じられるよう、色合いやデザイン、位置等に配慮し、相互の調和を図りましょう。

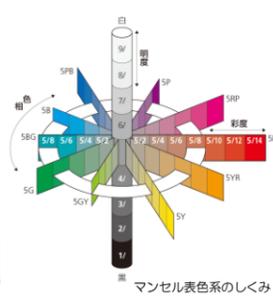
2-5 素材の工夫

低層階に設置する看板等は、みどり豊かで落ち着いた印象の景観を生かすため、石材や金属等の素材色の活用をはじめ、材質感にも配慮しましょう。

色彩ミニ知識

●色彩のものさし(マンセル表色系)

ひとつの色を客観的に表す国際的な尺度として、「マンセル表色系」があります。マンセル表色系では、色相、明度、彩度の3つの尺度の組み合わせによって、ひとつの色を表します。



マンセル値の表記の例 5R 4/10. 色相 明度 彩度. 色合い 明るさ 鮮やかさ. ヒマラヤスギの葉の色

【色相】

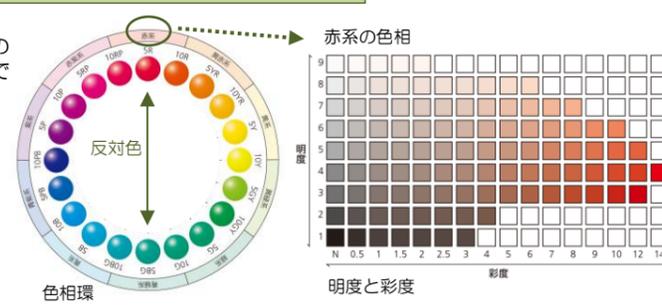
色相は、赤(R)、緑(G)、青(B)、紫(P)等の色合い(色の種類)をアルファベットと数値で表します。色相環で対面する色を反対色といいます。

【明度】

明度は明るさを0~10の数値で表します。数値が大きくなるほど明るさが増します。

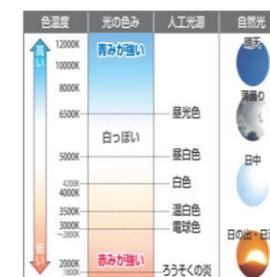
【彩度】

彩度は鮮やかさを0~14の数値で表します。数値が大きくなるほど鮮やかさが増します。



●光の色(色温度)

色温度は、光の色を表します。色温度が低い光源は赤みがかった光、色温度が高い光源は青みがかった光となります。色温度による演出効果等も踏まえて照明を選びましょう。



色温度によるイメージ

- さわやかで活動的な雰囲気 (5000K)
自然でやさしい雰囲気 (4000K)
安らぎが感じられる落ち着いた雰囲気 (2700K)

※図の色彩は印刷の都合上イメージになります。